



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 モリ工業株式会社

コード番号 5464 URL <http://www.mory.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)森 宏明

問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)濱崎 貞信

TEL 06-4708-1271

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日 平成27年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	19,524	△0.5	1,086	△34.8	1,129	△35.4	995	△11.0
27年3月期第2四半期	19,620	7.4	1,665	4.4	1,749	4.2	1,118	△0.6

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 695百万円(△50.9%) 27年3月期第2四半期 1,416百万円(7.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
28年3月期第2四半期	円 銭 24 04	円 銭 —
27年3月期第2四半期	27 01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
28年3月期第2四半期	百万円 45,551	百万円 31,181	% 68.2	円 銭 750 43
27年3月期	47,034	30,694	65.0	738 32

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 31,064百万円 27年3月期 30,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	円 銭 —	円 銭 5 00	円 銭 —	円 銭 5 00	円 銭 10 00
28年3月期	—	5 00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	39,000	△3.3	2,300	△29.3	2,400	△31.4	1,800	△22.3	43 48	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

本日、「業績予想の修正に関するお知らせ」を開示しておりますのでご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	41,407,404株	27年3月期	41,407,404株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	12,627株	27年3月期	10,731株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	41,395,975株	27年3月期2Q	41,405,011株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	P. 3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P. 3
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 8
4. 補足情報 .....	P. 8
<参考資料> .....	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、業種により景況感はまだら模様であり、また中国をはじめとした新興国の景気減速への懸念等から、先行きは不透明感が強くなってきております。当社グループの属しておりますステンレス業界は、主原料であるニッケルの市場価格が軟化傾向にあるため、買い控えなどの影響もあり荷動きは低調に推移いたしました。

このような状況下におきまして、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は195億24百万円(前年同期比0.5%減)となりました。昨年の値戻しによる販売単価の上昇により、売上高は微減にとどまっております。また収益面におきましては、数量減による工場稼働率の低下、製品価格と材料価格の値差の縮小などにより、営業利益は10億86百万円(前年同期比34.8%減)、経常利益は11億29百万円(前年同期比35.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億95百万円(前年同期比11.0%減)と減益になりました。なお特別利益に「厚生年金基金解散損失戻入益」3億31百万円を計上しているため、親会社株主に帰属する四半期純利益の減益幅は少なくなっております。

売上高を部門別にみてまいりますと、

ステンレス管部門は、全般的に数量面では振るいませんでしたが、単価上昇により金額では増加しております。このため売上高は95億53百万円(前年同期比4.9%増)となりました。

ステンレス条鋼部門は、単価の上昇はあったものの、数量の落ち込みが影響し、売上高は51億33百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

ステンレス加工品部門は、家庭用金物製品の不振を他の製品でカバー出来ず、売上高は10億91百万円(前年同期比5.2%減)となりました。

鋼管部門は、牽引役であった建設仮設材用がややペースダウンしたため、売上高は23億4百万円(前年同期比8.3%減)となりました。

その他部門は、輸出向けパイプ切断機に一部陰りが見えたため、売上高は14億40百万円(前年同期比4.3%減)となりました。

(製品部門別売上高比較表)

区 分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)		前連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
ステンレス管	9,105	46.4	9,553	48.9	18,838	46.7
ステンレス条鋼	5,342	27.2	5,133	26.3	11,337	28.1
ステンレス加工品	1,152	5.9	1,091	5.6	2,163	5.4
鋼 管	2,514	12.8	2,304	11.8	5,032	12.5
そ の 他	1,505	7.7	1,440	7.4	2,945	7.3
合 計	19,620	100.0	19,524	100.0	40,316	100.0

※ 報告セグメントが1つでありますので製品部門別に区分して記載しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は455億51百万円となり、前連結会計年度末に比べて14億83百万円減少いたしました。総資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加5億17百万円、受取手形及び売掛金の減少9億56百万円、電子記録債権の増加4億71百万円、その他の投資の減少10億34百万円（主に投資有価証券の減少12億5百万円）などであり、負債の部の増減の主なものは、支払手形及び買掛金の減少25億81百万円、電子記録債務の増加15億84百万円、退職給付に係る負債の減少3億51百万円、長期リース資産減損勘定の減少3億54百万円などであり、

当第2四半期連結会計期間末の純資産は311億81百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億87百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が7億89百万円増加いたしました、その他の包括利益累計額が2億88百万円減少したことなどによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて3.2ポイント上昇し、68.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、当社の主力製品であるステンレスの荷動きが低調であったことにより利益水準は予想をやや下回る結果となりました。第3四半期以降につきましても状況に大きな変化はないと見ておりますので、前回発表の通期業績予想を変更することといたしました。なお、詳細は本日（平成27年10月30日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当社グループの業績に直接的又は間接的に影響する主な要因のうち、当社グループの事業と密接に関連する重要なものとしてステンレス鋼の市況があります。ステンレス鋼の市況は需給バランスだけでなく、ステンレスの主原料であるニッケル市況の影響を強く受けています。これらはいずれも的確に予測できるものではなく、また、予測どおりに推移する保証もありません。

業績予想に際しては、予想時点の状況を基として予想期間における当社グループに関連する情勢を加味しておりますが、業績予想は実際の業績を保証するものではありません。実際の業績は、その後の情勢の変化等に伴い予想と乖離することがあります。その場合は、業績見込みの見直しを行い、その結果、業績予想の修正が必要と判断したときには速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,369	1,886
受取手形及び売掛金	12,955	11,999
電子記録債権	404	875
たな卸資産	10,175	9,979
その他	662	553
貸倒引当金	△14	△14
流動資産合計	25,552	25,280
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,885	7,884
その他(純額)	8,177	8,000
有形固定資産合計	16,063	15,884
無形固定資産		
その他	24	25
無形固定資産合計	24	25
投資その他の資産		
その他	5,403	4,369
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	5,394	4,361
固定資産合計	21,482	20,271
資産合計	47,034	45,551
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,902	5,321
電子記録債務	729	2,313
短期借入金	769	769
未払法人税等	543	360
引当金	402	351
その他	1,782	1,726
流動負債合計	12,130	10,843
固定負債		
長期借入金	2,120	2,085
役員退職慰労引当金	380	385
環境対策引当金	36	41
退職給付に係る負債	767	416
長期リース資産減損勘定	354	-
その他	551	598
固定負債合計	4,210	3,526
負債合計	16,340	14,370

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,360	7,360
資本剰余金	7,705	7,705
利益剰余金	13,665	14,454
自己株式	△4	△5
株主資本合計	28,727	29,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	955	737
為替換算調整勘定	682	604
退職給付に係る調整累計額	199	206
その他の包括利益累計額合計	1,836	1,548
非支配株主持分	129	117
純資産合計	30,694	31,181
負債純資産合計	47,034	45,551

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	19,620	19,524
売上原価	15,185	15,702
売上総利益	4,434	3,821
販売費及び一般管理費	2,768	2,735
営業利益	1,665	1,086
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	31	32
持分法による投資利益	10	31
為替差益	68	-
その他	24	26
営業外収益合計	137	91
営業外費用		
支払利息	17	16
売上割引	23	14
為替差損	-	8
その他	12	9
営業外費用合計	53	48
経常利益	1,749	1,129
特別利益		
固定資産売却益	27	-
投資有価証券売却益	19	68
厚生年金基金解散損失戻入益	-	331
特別利益合計	46	400
特別損失		
固定資産除却損	43	1
投資有価証券売却損	0	-
投資有価証券評価損	-	50
環境対策引当金繰入額	-	5
特別損失合計	44	57
税金等調整前四半期純利益	1,752	1,472
法人税、住民税及び事業税	536	325
法人税等調整額	113	164
法人税等合計	649	489
四半期純利益	1,102	982
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15	△12
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,118	995



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,102	982
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	187	△217
為替換算調整勘定	76	△0
退職給付に係る調整額	14	7
持分法適用会社に対する持分相当額	35	△77
その他の包括利益合計	314	△287
四半期包括利益	1,416	695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,424	707
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	△12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

〈参考資料〉 別紙

— 以上 —

<参考資料>

平成27年10月30日  
モリ工業株式会社

平成28年3月期 第2四半期 決算発表

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 H27. 3. 末	当四半期末 H27. 9. 末	増 減		前期末 H27. 3. 末	当四半期末 H27. 9. 末	増 減
流動資産	25,552	25,280	△272	負債	16,340	14,370	△1,970
現金及び預金	1,369	1,886	517	支払手形及び買掛金	8,632	7,635	△997
受取手形及び売掛金	13,359	12,875	△484	未払法人税等	543	360	△183
たな卸資産	10,175	9,979	△196	引当金	819	778	△41
その他	647	539	△108	有利子負債	2,895	2,858	△37
固定資産	21,482	20,271	△1,211	退職給付に係る負債	767	416	△351
有形固定資産	16,063	15,884	△179	長期リース資産減損勘定	354	—	△354
土地	7,885	7,884	△1	その他	2,327	2,321	△6
その他	8,177	8,000	△177	純資産	30,694	31,181	487
無形固定資産	24	25	1	株主資本	28,727	29,515	788
投資その他の資産	5,394	4,361	△1,033	資本金・資本剰余金	15,065	15,065	0
投資有価証券	4,373	3,168	△1,205	利益剰余金	13,665	14,454	789
その他	1,021	1,192	171	自己株式	△4	△5	△1
				その他の包括利益累計額	1,836	1,548	△288
				非支配株主持分	129	117	△12
資産合計	47,034	45,551	△1,483	負債・純資産合計	47,034	45,551	△1,483

2. たな卸資産回転月数 (期末たな卸資産÷累計期間の月平均売上高)

(単位：月)

	前四半期	当四半期	増 減
たな卸資産回転月数	2.94	3.07	0.13

3. 有形固定資産の内訳

(単位：百万円)

日 本	インドネシア	合 計
13,685	2,199	15,884

4. 有形固定資産の増減内訳

(単位：百万円)

有形固定資産の増減	設備投資	減価償却	その他処分等	為替換算増減
△179	312	483	5	△3
日 本 (△139)	( 274)	( 408)	( 5)	( -)
インドネシア ( △40)	( 38)	( 75)	( -)	( △3)

5. 実質有利子負債の比較

(単位：百万円)

	前期末 H27. 3. 末	当四半期末 H27. 9. 末	増 減
①有利子負債	2,895	2,858	△37
②現預金等換金性のもの	2,150	1,886	△264
実質有利子負債①-②	744	972	228

6. 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 26.4-26.9	百分比 %	当第2四半期 27.4-27.9	百分比 %	増減
売上高	19,620	100.0	19,524	100.0	△96
売上原価	15,185	77.4	15,702	80.4	517
売上総利益	4,434	22.6	3,821	19.6	△613
販売費及び一般管理費	2,768	14.1	2,735	14.0	△33
営業利益	1,665	8.5	1,086	5.6	△579
営業外収益	137	0.7	91	0.5	△46
受取利息	2		2		
受取配当金	31		32		
持分法投資利益	10		31		
為替差益	68		—		
その他の	24		26		
営業外費用	53	0.3	48	0.3	△5
支払利息	17		16		
売上割引	23		14		
為替差損	—		8		
その他の	12		9		
経常利益	1,749	8.9	1,129	5.8	△620
特別利益	46	0.2	400	2.0	354
固定資産売却益	27		—		
投資有価証券売却益	19		68		
厚生年金基金解散損失戻入益	—		331		
特別損失	44	0.2	57	0.3	13
固定資産除却損	43		1		
投資有価証券売却損	0		—		
投資有価証券評価損	—		50		
環境対策引当金繰入額	—		5		
税引前四半期純利益	1,752	8.9	1,472	7.5	△280
法人税等	649	3.3	489	2.5	△160
非支配株主に帰属する四半期純利益	△15	△0.1	△12	△0.1	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,118	5.7	995	5.1	△123

7. 当第2四半期の経常利益増減要因 (前第2四半期対比)

(単位：百万円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 固定費の減少	28	1. 生産金額 (量・価格含む) の減少	△223
		2. 原材料を含めた変動費の増加	△161
		3. 前年同期は、割高な期末製品棚卸高による売上原価の引き下げ効果があったが、当期はほぼ解消となったため	△128
		4. 為替差損	△76
		5. その他	△60
計	28	計	△648
		差引	△620